

「独断と偏見」

クラシック研究会

伊藤寿江

私の担当番組は、クラシック音楽。

クラシックというだけで、地味で固い、と思われがちですが、明るく楽しいものになってリスナーの皆さまに届け〜〜！！と毎回あの手この手で頑張っております。

小さなコンサートの場合、お客様の顔や反応がその場で感じられますが、ラジオは相手の顔が見えない。はてさて、これでどうじゃとばかり毎回、頭を回転させております。

私がラジオを聞く側でとても良く覚えてい

ることをひとつ。二十才頃の事と記憶して

います。風邪をひき熱も上がり、数日寝込んで

しまったのですが、少し体調が落ち着いた時

ラジオをつけたのです。

その時に流れてきた曲は、ブルッフ作曲

スコットランド幻想曲。ああ、風邪で寝てい

る場合じゃない、早く元気になって弾かねば

！！とパワーをもらいました。風邪が治って
すぐに、楽譜とCDを買い求め、とても嬉し
かったのを覚えています。ラジオのパワー、
恐るべしですッ！

さて現在の私は、**FM**宝塚開局の頃、ある
方に言われた『独断と偏見でやってください
。この独断と偏見、とても素敵な言葉で今も
それを念頭に、日々楽しく生きております。
ラジオは聞くのもマイクの前でお喋りするの
も大好き。ま、人には必要不可欠なものです
ね！！』